

いばらきネットモニター アレルギー疾患についてのアンケート結果

1 調査目的

アレルギー疾患（気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症、食物アレルギー）は近年増加傾向にあり、重大な問題となっています。

本アンケートは、茨城県が行うアレルギー疾患対策をより一層充実させるため、今後のアレルギー疾患対策の検討資料とすることを目的として実施しました。

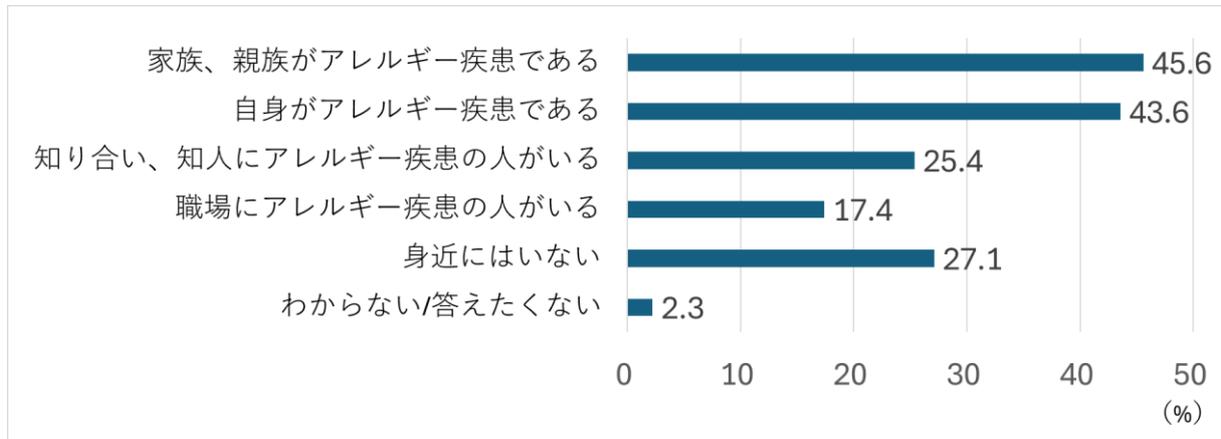
2 結果の概要

- ・「家族、親族がアレルギー疾患である」、「自身がアレルギー疾患である」、「知り合い、知人にアレルギー疾患の人がいる」、「職場にアレルギー疾患の人がいる」をあわせた【身近にアレルギー疾患の方がいる】が「身近にはいない」より多い結果となった。
- ・アレルギー疾患に関して困っている、または困ったことについては、「治療（治療方法や副作用、治療期間等）について」が最も多く、次いで「検査方法(検査項目や内容、費用等)について」、「食事（離乳食の進め方、食物アレルギーに対応した調理法）」の順となった。
- ・アレルギー疾患に関して困ったことの相談先としては、「病院や診療所などの医師」が約8割と最も多かった。
- ・アレルギー疾患の相談窓口がどこにあれば良いかについて、「かかりつけなど身近な病院や診療所」が最も多く、「アレルギー疾患を検査や診療できる病院や診療所」、「茨城県アレルギー疾患医療拠点病院である筑波大学附属病院」を合わせた【病院や診療所】は7割以上を占めた。
- ・アレルギー疾患対策に関する県の取組に対して、約8割の方が「あまり知らない」「全く知らない」との回答であった。

【問1】（アレルギー疾患の方との関わり）

あなたの身近には、アレルギー疾患の方がいますか。
次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=1,154)



○ 身近にアレルギー疾患の方がいるかとの問いに関しては、「家族、親族がアレルギー疾患である」(45.6%)が最も多く、次いで「自身がアレルギー疾患である」(43.6%)、「知り合い、知人にアレルギー疾患の人がいる」(25.4%)、「職場にアレルギー疾患の人がいる」(17.4%)の順で【身近にアレルギー疾患の方がいる】との回答であった。一方、「身近にはいない」と回答した人の割合は27.1%であった。

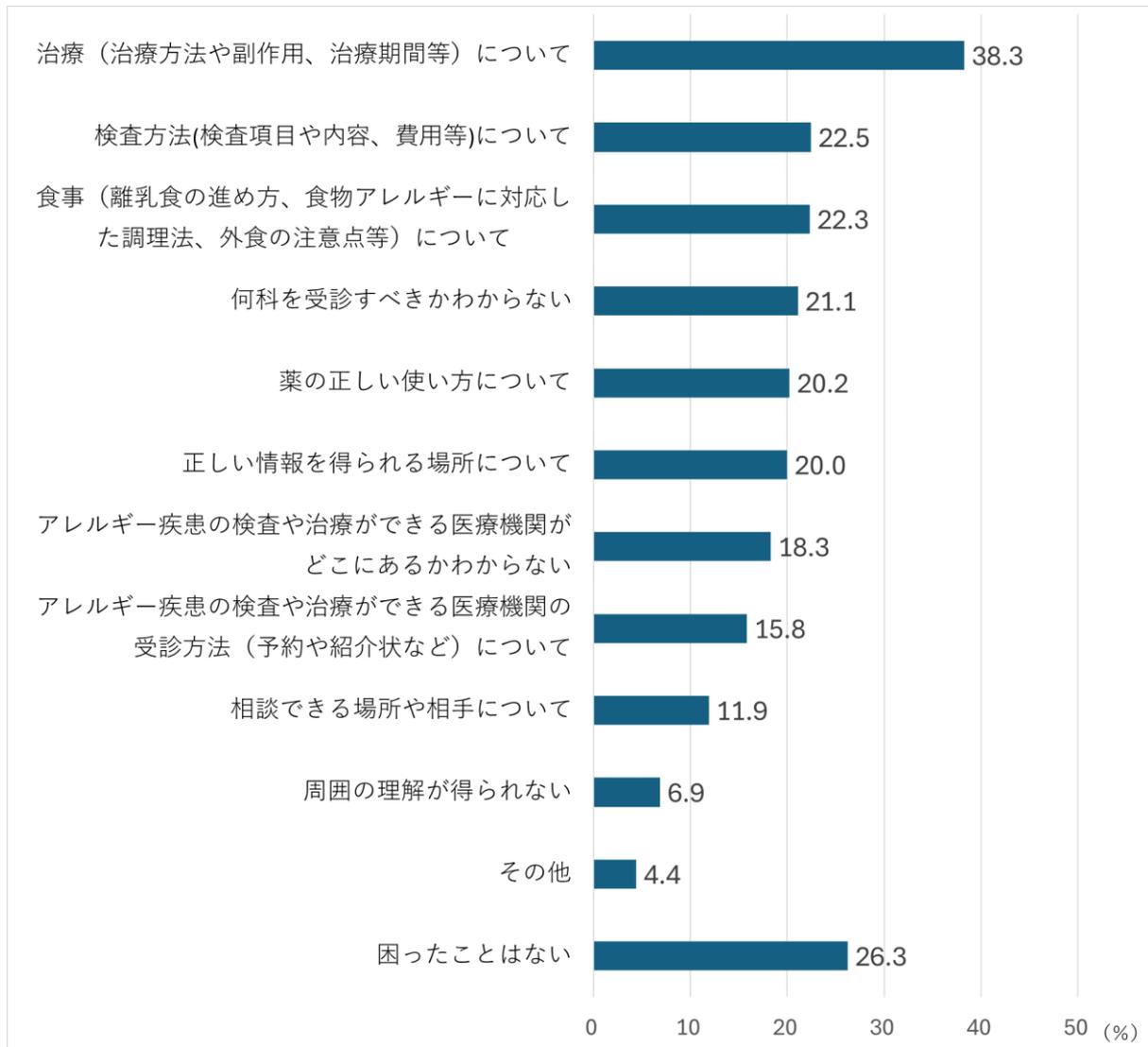
【問2】（アレルギー疾患について困ったこと）

（問1で選択肢1～4を選択した方へ）

あなたが、アレルギー疾患に関して困っている、または困ったことがあるのはどのようなことですか。

次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=815)



○ アレルギー疾患に関して困っている、または困ったことについては、「治療（治療方法や副作用、治療期間等）について」（38.3%）が最も多く、次いで「検査方法（検査項目や内容、費用等）について」（22.5%）、「食事（離乳食の進め方、食物アレルギーに対応した調理法）」（22.3%）の順となった。

○ 「その他」（4.4%）として、次のような意見が挙げられた。（計 36 件）

- ・アレルギー疾患が治らない（完治しない）
- ・食品アレルギー表示のない飲食店がある
- ・検査料が高い

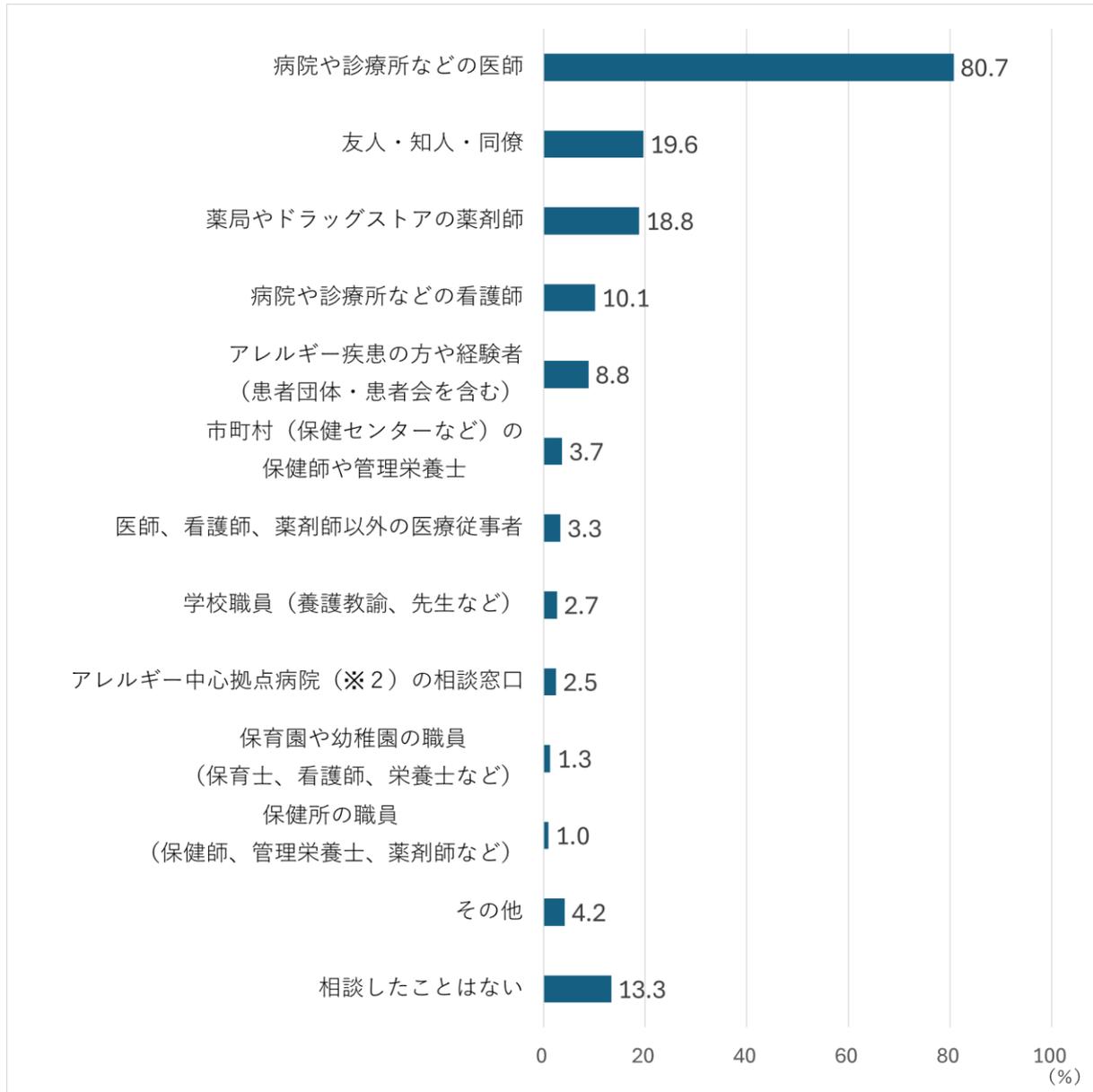
【問3】（アレルギー疾患の相談先について）

（問2で選択肢1～11を選択した方へ）

あなたは、問2で選択した内容について、どこ（誰）に相談しますか（しましたか）。

次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=601)

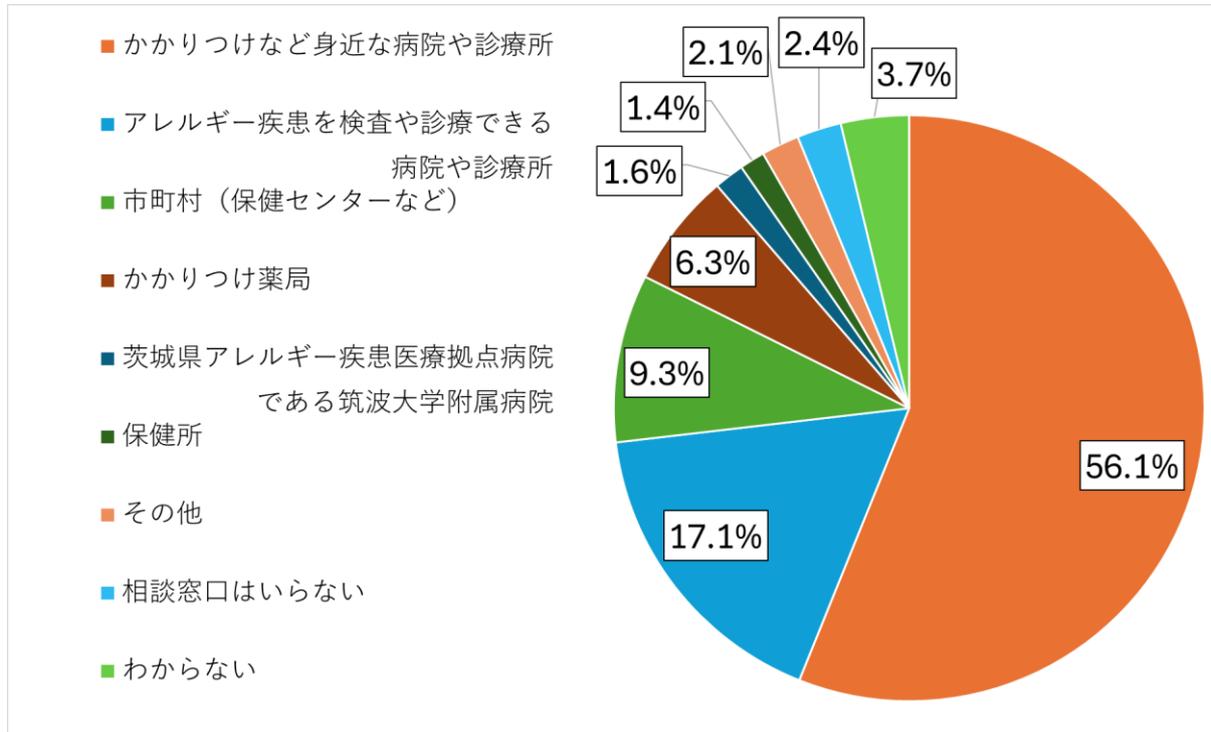


- アレルギー疾患に関して困ったことの相談先としては、「病院や診療所などの医師」（80.7%）が最も多かった。
- 「その他」（4.2%）として、次のような意見が挙げられた。（計 25 件）
 - ・インターネットで調べる
 - ・家族・親族
 - ・治らないのであきらめている

【問4】（アレルギー疾患の相談窓口について）

あなたは、アレルギー疾患についての相談窓口が、どこにあれば良いと思いますか。
次の中から、最もあてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,154)



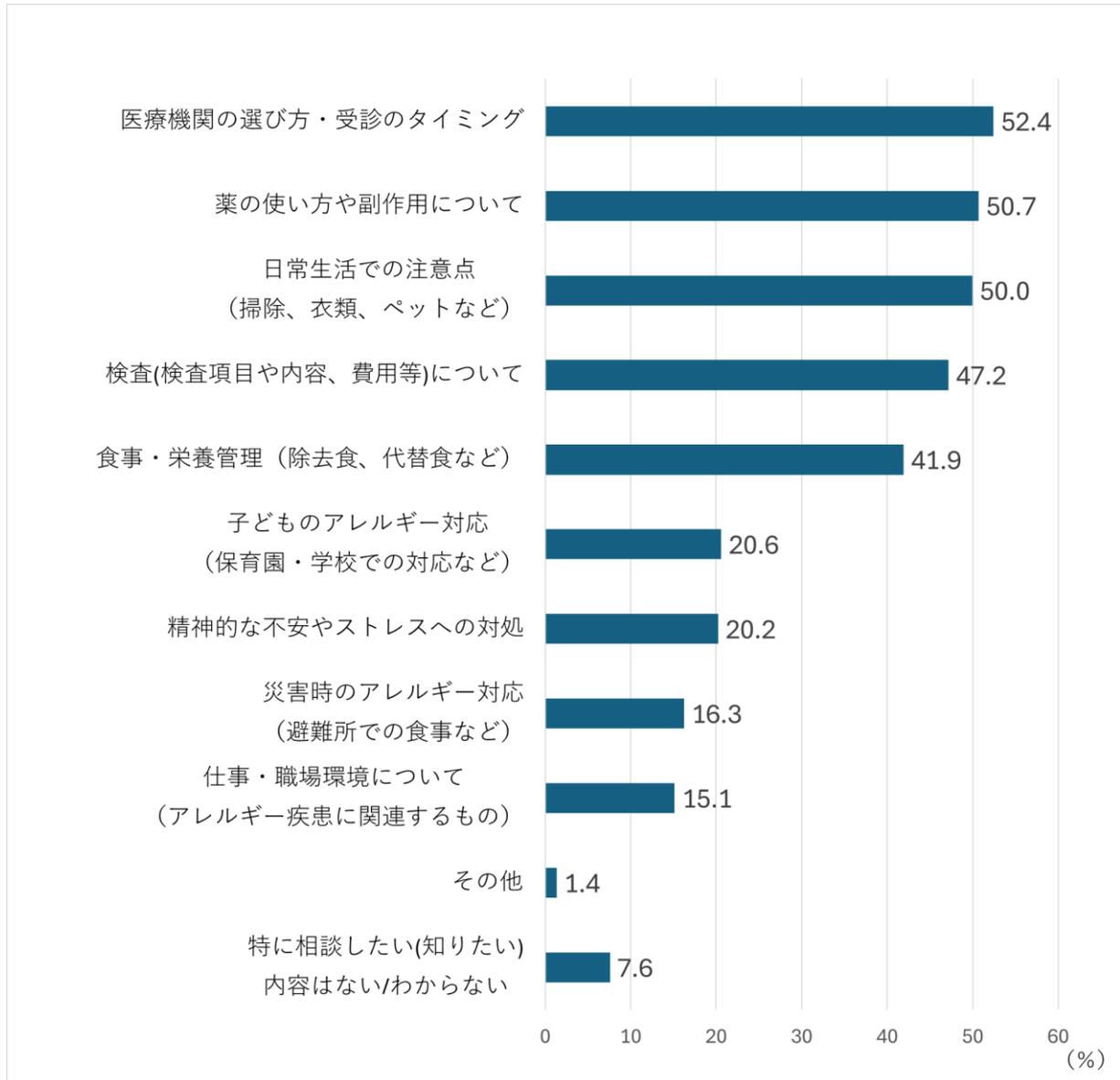
- アレルギー疾患の相談窓口がどこにあれば良いかについて、「かかりつけなど身近な病院や診療所」(56.1%)と回答した人の割合が最も多く、この回答に「アレルギー疾患を検査や診療できる病院や診療所」(17.1%)、「茨城県アレルギー疾患医療拠点病院である筑波大学附属病院」(1.6%)を合わせた【病院や診療所】と回答した人の割合は74.8%であった。
- 「その他」(2.1%)として、次のような意見が挙げられた。(計24件)
 - ・オンラインの相談窓口
 - ・インターネット（チャットボット）
 - ・市町村のLINE

【問5】（アレルギー疾患について相談したい内容）

（問4で選択肢1～7を選択した方へ）

あなたは、アレルギー疾患について、どのようなことを相談したい(知りたい)ですか。
次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=1,083)



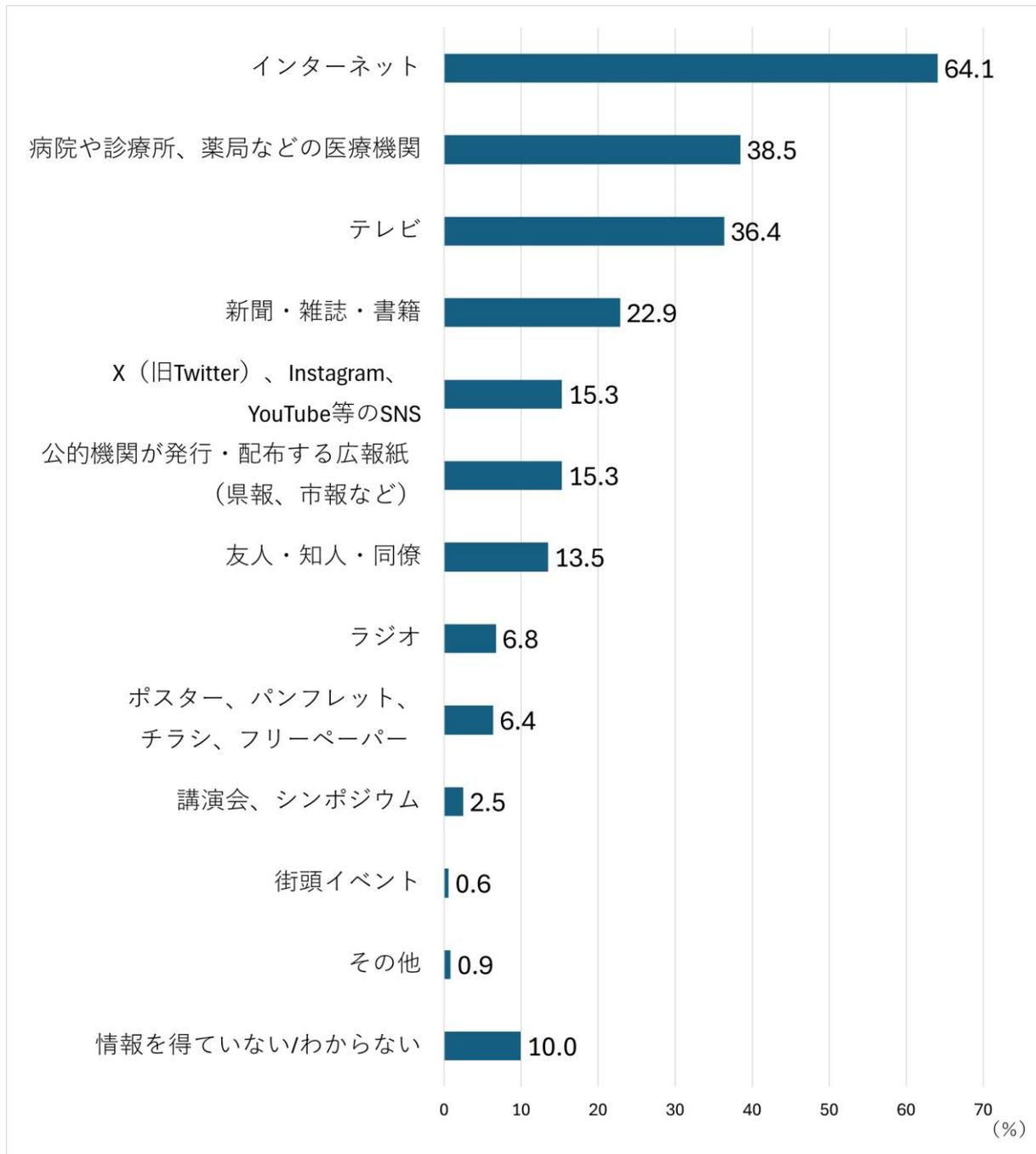
- アレルギー疾患について相談したい(知りたい)内容について、「医療機関の選び方・受診のタイミング」(52.4%)が最も高く、次いで「薬の使い方や副作用について」(50.7%)、「日常生活での注意点(掃除、衣服、ペットなど)」(50.0%)の順であった。
- 「その他」(1.4%)として、次のような意見が挙げられた。(計15件)
 - ・治療方法
 - ・最適な対処方法

【問6】（アレルギー疾患に関する情報入手手段）

あなたは、アレルギー疾患に関する情報をどこから得ていますか。

次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

(n=1,154)



○ アレルギー疾患に関する情報の入手手段については、「インターネット」(64.1%)が最も高く、次いで「病院や診療所、薬局などの医療機関」(38.5%)、「テレビ」(36.4%)の順であった。

○ 「その他」(0.9%)として、次のような意見が挙げられた。(計10件)

- ・職場の研修
- ・AI検索

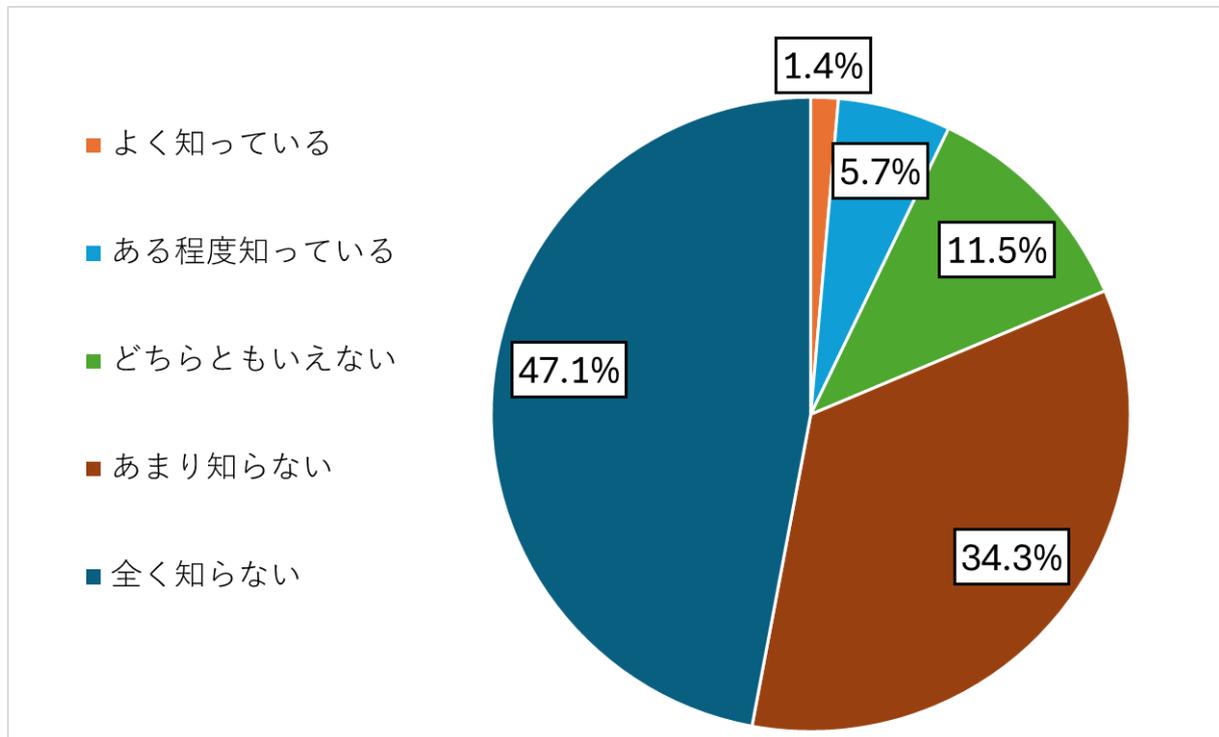
【問7】（アレルギー疾患対策に関する県の取組の認知度）

茨城県では、ホームページやX等を活用し、アレルギー疾患に関する県の取組について、情報発信を推進しております。

あなたは、アレルギー疾患に関する県の取組をどの程度知っていますか。

次の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

(n=1,154)



- アレルギー疾患対策に関する県の取組に対して、「よく知っている」(1.4%)と「ある程度知っている」(5.7%)を合わせた【知っている】は7.1%であった。
- 一方、「あまり知らない」(34.3%)と「全く知らない」(47.1%)を合わせた【知らない】は81.4%であった。なお、「どちらともいえない」と回答したのは11.5%だった。

【問8】（自由記述）

「アレルギー疾患対策」に対するご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。（200字以内）

- ・花粉の少ない杉への植え替えをすすめていただきたいです。
- ・アレルギー疾患の方への差別偏見を無くす取り組みが大切だと思います。
- ・茨城県での取り組みがこれまで知りませんでした。しっかりとした取り組みがなされていて安心しました。
- ・アレルギーに関する正しい知識を子ども・保護者・地域全体に広めることが大切だと思う。
- ・災害時の避難所にアレルギー対応の食べ物を必ず備蓄し、すぐ対応できるようにしてほしい。
- ・学校給食でのアレルギー対応に感謝している。引き続き安全対策をお願いしたい。
- ・除去食を扱うお店が少ないので、もっと増えると良いと思う。
- ・周囲の人がアレルギー疾患について正しい理解を持てるよう、様々な方法で情報発信してほしい。

など、321件の意見があった。

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ・本アンケートの結果を基に、「茨城県保健医療計画」など、アレルギー疾患に関する県の施策の検討の際の参考とする。
- ・県民の困っていることを住民向け講演会の演題にするなど、アレルギー疾患に関する正しい知識の普及啓発を図る。
- ・アレルギー疾患対策に関する県の取組の認知度が低いことがわかった。幅広い世代の方へ情報が届くよう、SNSだけでなく広報誌などの方法についても再考し、あらゆる情報媒体を用いた広報を検討する。

4 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：2026年1月6日～2026年1月19日

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：1,585名

回収率：72.8%（回収数1,154名）

回答者の属性：以下の通り

		人数（人）	割合（％）
全体（n）		1,154	100.0
地域別	県北	91	7.9
	県央	375	32.5
	鹿行	65	5.6
	県南	353	30.6
	県西	82	7.1
	県外	188	16.3
性別	男性	504	43.7
	女性	650	56.3
年齢別	16～19歳	6	0.5
	20～29歳	52	4.5
	30～39歳	140	12.1
	40～49歳	296	25.7
	50～59歳	306	26.5
	60～69歳	232	20.1
	70歳以上	122	10.6
職業別	自営業	82	7.1
	会社員	451	39.1
	団体職員	58	5.0
	公務員	58	5.0
	主婦・主夫	227	19.7
	学生	19	1.7
	無職	137	11.9
	その他	122	10.6

(2) 担当課

茨城県保健医療部疾病対策課 難病対策グループ

電話：029-301-3220 E-mail：yobo6@pref.ibaraki.lg.jp

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。